

図書館映画会「金曜シネマ」

上映作品 「老後の資金がありません！」(115分)
 日時 4月21日(金) 午前10時から
 費用 無料
 申し込み 電話または直接市立図書館へ

図書館映画会「ホリデーシネマ」

上映作品 「ローマの休日」(118分・吹替)
 日時 4月16日(日)
 午前10時から
 費用 無料
 申し込み 電話または直接市立図書館へ



おはなしポケット

大きい子向け
 日時 4月8日、5月6日の土曜日 午前11時から
 小さい子向け
 日時 4月中の水曜日、5月10日(水)
 午前11時から

子どもウィーク・あそびのひろば

4月23日の「子ども読書の日」から5月12日まで
 は「子ども読書週間」です。家族で本を楽しみましょう！
 日時 4月30日(日) 午後2時～3時30分
 対象 児童・親子
 ※未就学児は親子で参加してください。
 内容 新聞紙でこま作り
 費用 無料
 申し込み 不要(直接市立図書館へ)



市立図書館から

☎985-5121

開館時間 午前9時～午後7時
 休館日 4月24日(月)



館内企画展示

一般向け(カウンター前)

展示内容 「発達障がいの気づきと可能性」
 4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日から8日までは「発達障がい啓発週間」です。自閉症をはじめとした発達障がいについての本を展示します。
 期間 4月23日(日)まで
 児童向け(児童コーナー)

◆展示内容

「鳥！大集合」
 身近にいる小さな鳥から、珍しい大きな鳥まで、たくさんの鳥の本を展示します。
 期間 4月23日(日)まで

◆展示内容

「はじめて はじめまして」
 新年度が始まります。期待も不安もたくさんある皆さんの新生活を応援する本を集めました。
 期間 5月28日(日)まで



新刊図書案内

図書館流通センター(新刊全点案内)より引用

『世界のヘンな研究』

著者：五十嵐杏南
 出版社：中央公論新社
 世界は、想像もつかないオモシロ研究であふれている！サーフィン工学、砂漠農業、大麻の化学分析、忍者・忍術学など、世界の各地域で、その地域だからこそ行われている学問(研究)を紹介する。



『自然と暮らす家』

文章：松川絵里 写真：雨宮秀也
 出版社：エクスナレッジ
 海を望む台所、富士山を望む家、小屋のような家、都心のなかでも雑木林に佇むような家…。周囲に豊かな自然があるというだけではなく、環境と調和し、自然とのつながりが持てるように設計された13の家の暮らしを紹介する。



認知症サポーター

令和4年12月31日現在、認知症サポーターは全国で約1,430万人(日高市：4,789人)います。

厚生労働省によると、認知症高齢者は、令和7年には、全国で約700万人(65歳以上の高齢者の約5人に1人)に達することが見込まれています。

そのため、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、また認知症を早期発見・早期治療するためにも、認知症について多くの人が正しい知識を学び、理解することが必要です。



▶認知症サポーターの役割

何か特別なことをするのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族への応援者になることです。

- 例えば…
- 友人や家族に、誤解や偏見を招くことがないように認知症に関連することを伝える
 - 認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める
 - 日常生活の中で認知症の人やその家族と出会ったときに温かく見守る

▶認知症サポーター養成講座

日時	場所	人数	申し込み・問い合わせ
5月19日(金) 午後6時～7時30分	高萩北公民館	20人	高萩地域包括支援センター ☎984-3001
6月24日(土) 午前10時～11時30分	総合福祉センター 「高麗の郷」	30人	高麗川地域包括支援センター ☎984-1362
7月22日(土) 午前10時～11時30分	武蔵台公民館	20人	高麗地域包括支援センター ☎982-0111

※講座終了後、予約制の個別相談が受けられます。講座申し込みの際に、併せてお申し込みください。

費用 無料

申し込み 4月10日(月)以降に、電話または直接各地域包括支援センターへ

問い合わせ 長寿いきがい課高齢者支援担当(1階⑤番窓口)

上記日程以外でも、認知症サポーター養成講座の開催を希望する人は、会場とおおまかな人数、日時を決めて開催希望日の45日前までに、長寿いきがい課高齢者支援担当へご相談ください。



▲高根中学校で講座を行いました

認知症の基礎知識や症状と接し方、認知症の人や家族の気持ちの理解、認知症の人と接する時の心構え等を学び、「認知症について楽しく分かりやすく学べました」「認知症の人や困っている人がいたら、助けてあげたい」「優しく寄り添ってあげたい」等の感想がありました。